

# 「Contemplation 2」

～羊は羊飼いの声を知っている 騙されるな～

Ⅱテモテ 2:13～19 Ⅱペテ 1:5～10 エペソ 6:11～18

先日の地震は本当に驚きました。ライフラインが一時的に止まり大騒ぎになったところも多くありましたが、皆さんはこのような状況になった時、冷静でいられましたか？それとも心が騒いだでしょうか？

私たちにとって知識と知恵は必要なものですが、それを人間が与えるものになってしまうと多くの問題が起きてしまいます。知識と知恵は御言葉からのものであるべきなのです。私たちの言葉は「進歩（＝深入り）」します。「あの人が、あの人のことをこう言っていたよ。」という話が人から人に伝わっていくと最後には倍ぐらい大きな話になっている事があります。体に出来た小さな癌が、どんどん広がって転移していくように間違った分裂を起こして手がつけれないところまでいくのです。小さな滴のような言葉が最後にはバケツいっぱい言葉になり周りの人にバシャバシャとかけられていきます。これが戦争になっていくのです。あなたの間違った言葉は進歩していきます。ここには「思いこみ」がはたらきます。世の中で多くの少しい間違った情報が飛び交い私たちが生きる中でそれがあたかも正しい事のようになってしまったのなら本当に心配です。

あなたがどんなに良い思いで言葉を伝えたとしても相手にはその言葉が真っすぐに伝わらないことがあります。またその状況によって前向きに発したものでも人の前にはそうでない事があります。言葉は本当に大切に危険なものであることを理解しておかなくてははいけません。では何故悪く伝わるのでしょうか？それは聴く側が過去に経験したことを元に誰かの自らに対する言葉には構えているのです。自分を指摘された時はなおさらです。両親からの言葉の8割は否定的なものと言われたりします。日本人の文化には代々人さまに迷惑をかけない。や、恥をさらすな。や、人に笑われる。といった古くからの考えがあり幼い頃から周りの目を気にするように言われて育ってきました。「指摘されることに弱い」ということになります。ですが神様は「私が完全であるように、あなた達も完全でありなさい」と言っています。聖書は98%のあなたの批判ではなく「98%素晴らしいあなた」の残り1～2%ほどの弱点を克服すれば完全なものとなると言っているのです。克服と聞けば厳しい鞭のように思われるかもしれませんが、そうではなく1～2%の弱点を知らせ、あなたの中のトゲを取りたいのです。神様はあなたに努力して変われなどと言っているのではなく努力して決断せよと言っています。それは神様の前に入る決断です。「私にはこんな問題があります！」と認める事は傷つくことでしょうか？トゲは取らなければ治りません、いつまでも痛いと言って逃げてはいけません。神様はいつも私たちに「決断」を促します。

私たちは弱い部分に踏み込まれると地雷のように

爆発します。あなたの地雷は何でしょうか？自分に地雷があることを理解しているでしょうか？教会に来る理由、それは自分の弱さ（自制と忍耐）を知るためです。強いと言われる人は自分の弱さを知っています。だからといってあなたが弱いわけではありません。神様はあなたを弱くは作っていません、その地雷があなたの周りを悪くしているのです。

## 黙想 備える（何を？）

「また、人の益を計り、良い行いに富み、惜しまずに施し、喜んで分け与えるように。また、まことのいのちを得るために、未来に備えて良い基礎を自分自身のために築き上げるように。（Ⅰテモテ 6:18～19）」

私たちは心の備えをしなければいけません。早くあなたの地雷が取り除かれて強い土台ができるために。受くるより与える者にならなければならないのです。

## 影響は与えるもの

神様は、心を騒がすのではなく心に平安があるように。と言っています。私たちが備えていれば様々な影響を受ける事はありません。影響は受けるものではなく、与えるものなのです。そのためには言葉はしっかりと選ばなければならないのです。

## 黙想（イエス様なら）

「御言葉と祈り」がなければ私たちは悪い影響に勝つことはできません。それはまさに命です。体にミネラルが必要なように心には祈りが必要なのです。祈りを生活の中心に置く事で考え方の根本が変わるのです。

## 最後に

私たちは制御し、間違った言葉を発しません、そして神様の前に外側ではなく騒がない心を備えます、私たちは決断します。主よ助けて下さい、自分の弱さを認めることを決断します。主は私たちを癒されました。もう傷つくことはありません。たとえ傷を負っても影響はうけません。恵みの主が私たちの前を歩まれるからです。

（要約者：西崎 真由美）

（10月23日）